

元気な江田島市を目指します

議会運営委員会・総務常任委員会

今回、議会運営委員会と総務常任委員会は合同で1月22日から24日まで、九州豊後方面の自治体とその周辺の元気なスポットを視察しました。

研修に行った自治体は大分県竹田市と福岡県うきは市です。両市とも江田島市と同規模の市で平成の大合併で誕生した新しい市です。

市庁舎にて合併後の財政状況、支所機能、庁舎建設、議会運営などについて研修をしました。研修会ではたくさんの質問が出て、真剣に議論しました。

(平成18年度)

| | 人口 (人) | 職員数 (人)* | 議員数 (人) | 財政力指数 | 経常収支比率 (%) | 公債費比率 (%) |
|------|-----------|-------------|------------|-------|---------------|--------------|
| 竹田市 | 27,127 | 441 | 28 | 0.245 | 107.45 | 16.3 |
| うきは市 | 33,787 | 252 | 18 | 0.389 | 82.1 | 7.4 |
| 江田島市 | 30,191 | 515 | 26 | 0.337 | 98.1 | 15.9 |

* 職員数は一般職のみ



▲豊後高田市(昭和の町)



▲うきは市議会研修

議会の動き(平成19年1月～3月)

| 月 | 日 | 会議名 | 主な審議内容 |
|----|-------------|-----------------|--------------------------------------|
| 1月 | 30日 | 第2回議会全員協議会 | 市総合計画・基本計画、市国民保護計画 |
| | 25日 | 庁舎建設検討等特別委員会 | 委員会の今後の進め方 |
| | 22日～24日 | 議会運営委員会・総務常任委員会 | 先進地視察研修 |
| | 19日・11日・17日 | 議会広報特別委員会 | 議会だより第9号編集 |
| | 9日 | 第1回議会全員協議会 | 市立保育園の統廃合 |
| 2月 | 28日 | 議会広報特別委員会 | 議会だより第10号掲載内容検討 |
| | 26日・27日 | 産業建設常任委員会 | 先進地視察研修 |
| | 22日 | 文教厚生常任委員会 | 市障害者計画及び障害福祉計画等、児童の放課後対策の取組み等 |
| | 20日 | 総務常任委員会 | 消防団の活性化 |
| | 19日 | 第3回議会全員協議会 | 市農業委員会委員の定数、予算の査定状況 |
| 3月 | 14日・15日 | 議会広報特別委員会 | 先進地視察研修 |
| | 13日 | 企業会計特別委員会 | 交通船事業、国民宿舎事業 |
| | 14日 | 議会運営委員会 | 先進地視察研修 |
| | 2日 | 第4回議会全員協議会 | 第1回市議会定例会(議案、議事日程) |
| | 2日 | 議会広報特別委員会 | 議会だより第10号掲載内容検討 |
| 3月 | 26日 | 文教厚生常任委員会 | 専決処分3件、議案15件、補正予算8件、施政方針、予算の委員会付託14件 |
| | 22日 | 第1回市議会定例会最終日 | 第1回市議会定例会(同意3件) |
| | 16日 | 議会運営委員会 | 平成19年度総務関係予算審議 |
| | 14日・15日 | 文教厚生常任委員会 | 平成19年度産業建設関係予算審議 |
| | 12日・13日 | 産業建設常任委員会 | 平成19年度文教厚生関係予算審議 |
| | 9日 | 議会運営委員会 | 第1回市議会定例会(発議) |
| | 8日 | 第1回市議会定例会3日目 | 一般質問3人 |
| | 6日 | 第1回市議会定例会2日目 | 一般質問9人 |
| | 6日 | 第1回市議会定例会初日 | 専決処分3件、議案15件、補正予算8件、施政方針、予算の委員会付託14件 |
| | 2日 | 第4回議会全員協議会 | 第1回市議会定例会(一般質問) |

産業建設常任委員会

江田島市の農・漁業は輸入農海産物の増加や従事者の高齢化、風評被害、価格低迷等により危機的な状況にあります。

何らかの好転の糸口がつかめればと、2月26・27日の日程で、大分県の魚の採卵・飼育施設と、農産物1.5次加工工場(玉ネギ、ニンジン、大根、ニンニクなどの農産物を原料とする、業務用冷凍野菜製造・業務用乾燥食品製造)の視察をした。

産資源増殖に大きく貢献しています。育てる漁業の認識を新たにしました。

◆第二日目

昭和56年第三セクターで設立され、創業以来「現在の食生活は生活スタイル」とも

「て行く」をモットーに、生きいきとした活気のある加工場でした。視察した時は、玉ネギのフライ加工品やフライドガーリックを大量に生産しておりました。大消費都市と遠く離れた大分県農業の、契約栽培による経営安定と雇用創出対策を垣間見ることができ、大変参考になりました。

◆第一日目

大分県漁業公社事業場 県・市町・水産関係団体出資で昭和46年に設立された公益法人です。

国東事業場は、ヒラメ、マコガレイ、アユ、ガザミ、クルマエビ、ノリ等の採卵・陸上飼育を15名の職員で行っています。施設は古いがよく整っており、大分県内で放流・養殖される種苗のほとんど全てを生産し、県の漁業生産額350億円の水

安全、自然のままの味にこだわり、契約栽培で育てた大地の恵みを受けたい旬の美味を、あらゆるシーンに対応し



▲ヒラメの陸上飼育を視察